

様式1 令和5年度 山梨県立ひばりが丘高等学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	自分に誇りを持ち自己を磨き、毎日を生き生きと学ぶ生徒。自分を見つめ困難に打ち克つ生徒。社会人として自立し役割を担うことのできる生徒の育成。
-----------	---

山梨県立ひばりが丘高等学校校長 加藤 幸一

本年度の重点目標	1 自主・自律的な生徒の育成
	2 自己肯定感・自己有用感の育成
	3 心身の健康の保持増進及び基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上
	4 社会性や公共性・道徳心の習得

達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)
	B 概ね達成できた。(6割以上)
	C 不十分である。(4割以上)
	D 達成できなかった。(4割以下)

評価	4 良くできている。
	3 できている。
	2 あまりできていない。
	1 できていない。

自 己 評 価				年度末評価(2月1日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果		
				達成度	成果と次年度への課題・改善策	
1	自主・自律的な生徒の育成	生徒に寄り添い、個々の生徒の長所を引き出し、育てる指導により、自主的自律的な態度の育成に努める。	学校評価アンケート			
		部活動や委員会活動などの生徒主体の活動を活性化することにより、自主的自律的な態度の育成に努める。	学校評価アンケート			
2	自己肯定感・自己有用感の育成	授業内容・評価規準の明確化、主体的で対話的な深い学びの実践等により、達成感・充実感を味わうことで学習意欲を喚起し、学力向上に努める。	授業観察・学校評価アンケート・授業アンケート			
		基礎基本を大切に授業や授業のユニバーサルデザイン化、AIドリルによる個に応じた学習支援等により、学習意欲を喚起し、学力向上に努める。	授業観察・学校評価アンケート・授業アンケート			
		総合的な探究の時間におけるキャリア教育や探究活動、「表現の時間」等により、自らの在り方、生き方、地域をとりまく課題を考えたり、客観的に自己を表現したりすることで、社会を生き抜く力や課題を解決する力の育成に努める。	学校評価アンケート			
		「創作授業」や「吉田のうどんづくり」、「花・野菜づくり」等の体験的な学習や集団活動により、自己肯定感・自己有用感の醸成や自己実現に努める。	学校評価アンケート			
3	心身の健康の保持増進及び基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上	日常の健康観察やカウンセリング、「通級による指導」等により、心身の健康の保持増進や自己理解、コミュニケーション力の向上に努める。	学校評価アンケート(通級)			
		日常の声かけやホームルームでの生活指導等により、健康的な生活習慣の確立と規範意識の向上に努める。	学校評価アンケート			
4	社会性や公共性・道徳心の習得	日常の挨拶や対話等により、望ましい人間関係や社会性を身につかせ、いじめを生み出さない雰囲気や道徳心の向上に努める。	学校評価アンケート・いじめアンケート			
		日常の清掃やボランティア活動等により、他人を思いやり、協力と奉仕のできる公共心・責任感・協調性・豊かな心の育成に努める。	学校評価アンケート			

学校関係者評価	
実施日(令和6年2月29日)	
評価	意見・要望等

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。  
 (2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。